

## 平成30年度第1回 神戸市男女共同参画審議会

日 時 : 平成30年11月13日(火)10時00分～12時00分

会 場 : 神戸市役所1号館14階AV1会議室

(◆ 委員の発言 ◇ 事務局及び幹事の発言)

### 1. 議事

平成30年度神戸市男女共同参画計画年次報告書(案)について

- 1) 年次報告書の見直しについて
- 2) 平成29年度男女共同参画に関わる施策について
- 3) 平成29年度DV対策に関わる施策について

- ◇ 1) については資料1、2) と3) については資料2に沿って説明。
- ◆ ご意見やご質問をお願いしたい(会長)
- ◆ 神戸市の現状のグラフだが、計画においても意識啓発が重要な柱であるが、それを反映するデータの掲載がない。神戸市の性別役割分担意識についてのデータを使用しないのか。昨年度はそのようなデータがあったと思うが。
- ◇ 神戸市の性別役割分担意識については、平成28年に実施したネットモニターアンケートで調査している。ネットモニターは継続的に活動いただいている方が多く、経年比較にはなじまないため、新しいデータがない。こうしたこともあり「Ⅱ取り組み状況(詳細)」P27に他のものもあわせてデータがあるURLを記載させていただいた。
- ◆ 神戸市の女性の労働力率の年代別比較について、M字カーブが解消されてきているということを表したいのか。未婚と既婚で様子が大きく異なる。総数も必要ではあるものの、未婚と既婚での例示も検討しても良いのではないか。
- ◇ 確かに配偶関係でグラフは異なる。(→手元のモニターに表示)
- ◆ 育児をしている女性の有業率と神戸市の前職の離職理由のグラフは、どのような意図で掲載されているのか。
- ◇ 前職の離職理由では、その他を除くと、出産・育児による退職が多く、この中には離職せざるを得ない方がおられる。また、地域の事情や様々な理由はあるが、神戸の育児をしている女性の有業率は政令市の下位に位置している。就業上の課題を抱えていると認識している。
- ◆ 有業率については、政令市との比較だけにせず、全国平均や有業率が高い地域などとも比較すべきだと思う。
- ◆ 離職理由のグラフは、その他の割合が多いので見づらくなっている。
- ◆ グラフに関しては、知っている人は分かるのかもしれないが、初めて見る人は、何を表しているのかがよく分からない。もう少し説明等を加えて分かりやすくしてほしい。
- ◆ それぞれのグラフに対して神戸市がどのように捉えているのか、今後どのように取り組んでいくのか等をキャプションにすると分かりやすくなるのではないか。
- ◆ グラフは神戸市の現在を表しているわけで、その状況を受けて、取り組みを行った内容が年次報告書の主な取り組みとして記載されている。事実を示しているグラフ

にキャプションなどを入れてしまうと事実と分析が混在してしまい、分かりにくくなるのではないか。

- ◆ それぞれのグラフがどの基本目標と関係があるのか、つながりを示せば、グラフの意味がある程度理解されるのでは。
- ◆ グラフの題名を工夫するというのはどうか。例えば「DV相談件数」は、「高止まりするDV相談件数」といった表記にするのも一つの手ではないか。
- ◆ 兵庫県の男女別賃金格差（所定内給与額）については、グラフのように男女の賃金格差が縮まっているのか。もっと差があるという認識をしていたが。
- ◆ 所定内給与額には家族手当などは含まれるが、時間外手当は含まれていない。男女差が縮まってきている傾向があるのではないか。ただ、このグラフの対象が誰なのかでグラフの解釈が変わってくると思う。
- ◇ 一般労働者分である。短時間勤務は含まれない。
- ◆ 一般労働者であれば、女性の社会進出が進んできて、これまでのように出産などで辞める方が少なくなって勤続年数が増えたことや、それに伴って女性の管理職も少しずつ増えてきていることから男女の賃金格差が縮まっている傾向が見て取れる。正規が少ないのは女性の課題の1つだが、そこは表せていない。
- ◆ 男女の所定内給与額をグラフで示すよりは、男性100に対して女性がどれくらいかという比率を表すようなグラフの方が分かりやすくなるのではないか。
- ◆ グラフの選択や見せ方、タイトル等について、各委員から貴重なご意見を多く頂いた。この点については事務局に再度検討を頂いて作成いただくという形でどうか。（会長）
- ◆ 男女共同参画計画に基づいて、様々な取り組みをしているが、セミナー等の参加者数の記載はあるものの、参加者数が多いのか少ないのか、効果があるのかどうかは良く分からない。募集人数に対して、どのくらい参加者となったかを表すことでその効果が分かるのではないか。
- ◇ あすてっぷ講演会については、募集100名に対して申込者数は84名であったが、当日台風接近に伴い参加者が45名と大変少なくなってしまったという経緯がある。
- ◆ 何か特別な理由などがあって、参加者数が少なくなっているのであれば、記載したほうがよいと思う。
- ◆ 確かに効果という視点は非常に重要である。一方で、行政が実施する啓発事業については、内容によっては参加者が少なくても地道に取り組みを続けていく必要があるものもある。難しい課題であると思う。（会長）
- ◆ 年次報告書Ⅰ.現状と主な取り組みという形でA3、1枚にまとめることは、非常に良い取り組みと思うが、見やすさという点ではまだ分量が多いのではないか。「Ⅱ.取り組み状況（詳細）」があるのでもっと絞って掲載しても良いと思う。
- ◆ 男女共同参画計画では基本目標が1から7までであるが、年次報告書「Ⅰ.現状と主な取り組み」では、基本目標5と7の記載がない。スペースの関係で記載されていないと思うが、記載したほうがよいのではないか。
- ◇ 市民参画推進局が実施する男女共同参画とDVに関わる施策に絞って「Ⅰ.現状と主な取り組み」に記載し、その他は「Ⅱ.取り組み状況（詳細）」としたものだが、

ご指摘をふまえて、基本目標の5と7については、年次報告書「I. 現状と主な取り組み」にどのような形がいか検討し記載する。

- ◆ 成果指数については、比較してもあまり意味をなさないものもあるが、比較が可能なものについては「II. 取り組み状況（詳細）」の各項目に記載を残しても良いかと思う。
- ◆ 少なくとも審議会の委員には示すべきではないか。
- ◇ 昨年度の審議会でも議論があった。制度の変更などもあり目標と比較しても意味がないものがあること、全市的にPDCAサイクル作業の見直しをしていること、計画の中間年でもあることから、今回の年次報告では記載しないものとした。
- ◆ 昨年度も議論したが、目標値の中には、設定時の検討が十分でなかったものも含まれているということだと思う。PDCAサイクルの見直しということもあり、今年度についてはこれでいき、次年度以降については引き続き検討していくということかどうか。（会長）
- ◆ DV対策について、トイレトペーパー作戦は大変良い取り組みと思う。5000個と言わず、もっと配布個数を多くして様々なところに協力していただくのが良いと思う。
- ◇ トイレトペーパー作戦は、DVに気付いていない人に対して、気付いてもらう機会になればと思っている。今年度は3,000個配布している。
- ◆ デートDV予防啓発事業については、市立だけでなく県立高校へ講師を派遣することはできないのか。兵庫県の管轄で難しいかもしれないが、検討いただけたらと思う。
- ◆ グラフや記載内容について多くのご意見をいただいた。事務局で修正案を作成し、メール等で委員の皆様にご目を通しいただき、最終的には副会長や会長に一任いただいで公表という流れでいきたい。（会長）